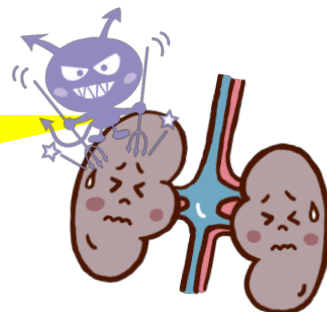




# 透析リスク が隠れているかも



過去の健診結果数年分<sup>\*</sup>を持参、あるいは継続的に受診していただくと、あなたの腎機能の長期推移を示す図【Long term eGFR plot:LTEP(エルテップ)】を作成致します。

\* 採血検査結果でCre,eGFRの結果があるもの

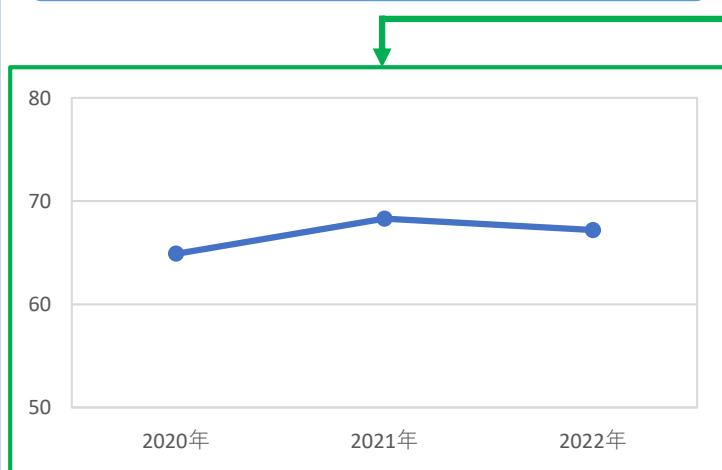
健診では、腎機能の指標（eGFR）が60未満でC判定になります。「自分はいつもA（またはB）だから大丈夫！」と安心していませんか？実は、eGFRは1～3年程度の短期間の推移では悪化に気付きにくいことがわかっています。

下の二つの図は、ある方の腎機能の推移を示しています。左側の図のように、短期間で見るとこの方のeGFRは安定しているように見えます。しかし、右側の図のとおり、長期間（LTEP）で見ると80歳頃には透析に至る可能性があることがわかります。透析に至らなくても、腎機能が悪化すればするほど心筋梗塞や脳梗塞、脳出血等のリスクが増すため、腎機能が悪化傾向の場合、早期の介入が望ましいとされています。

「透析をせずに人生を送ることができるか」、あなたの将来の透析リスクを見てみませんか？

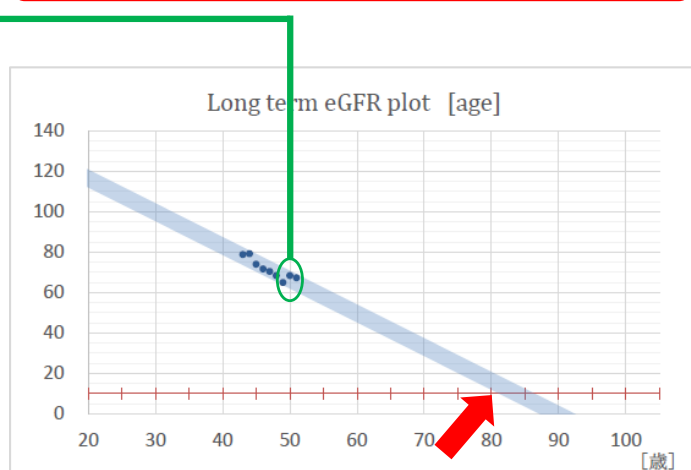
定期的に当医院に通院、血液検査で腎機能評価していただき、継続的にeGFRを測定することで、将来の透析リスクを早期に発見しましょう。

## 短期間の腎機能の見方



現在52歳。3年間のeGFRの数値だけで見ると、安定した推移ですが…？

## 長期間の腎機能の見方



長期間で腎機能の推移を見ると80歳頃には透析が必要に!?

短期間の腎機能の見方では  
腎機能の悪化が見逃され続ける恐れがあります



# 「Long term eGFR plot(LTEP)」とは

☆ 得られる全てのeGFRの長期推移を一括表示したもの

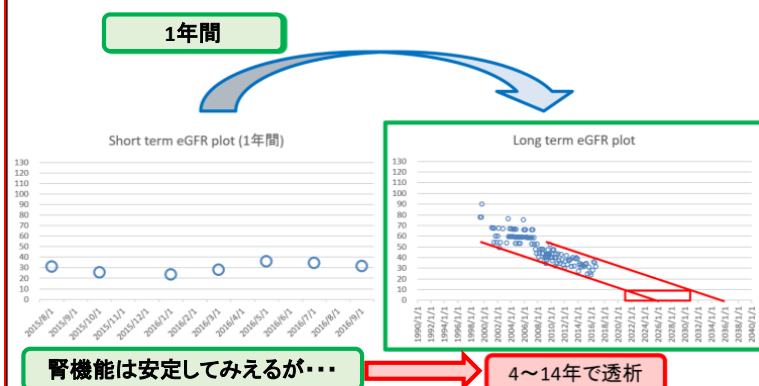
Short term(1~3年間程度)の腎機能の指標(eGFR)を観察しても腎機能の悪化に気付くことは困難で、多くの症例が長期間腎機能が悪化し続けていても見逃され続けています  
Long term eGFR plotでは腎機能の経時的な推移が一目でわかります

## 【eGFRの変動幅】

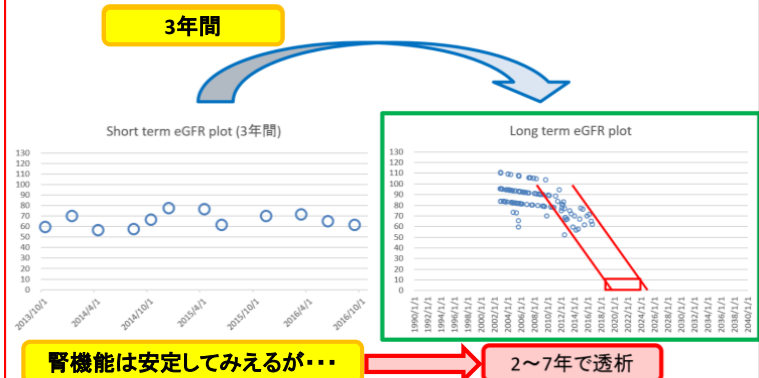
中央値 13.5 mL/min/1.73m<sup>2</sup>  
(3.1 ~ 39.0 mL/min/1.73m<sup>2</sup>)

※3年間以上直線的に腎機能低下中の  
142症例の解析結果

## 1年間のeGFR plotとLong term eGFR plotの比較



## 3年間のeGFR plotとLong term eGFR plotの比較



## 1年間のeGFR plotで腎機能低下している場合の実際



## eGFR変動の実例と|ΔeGFR|との関係

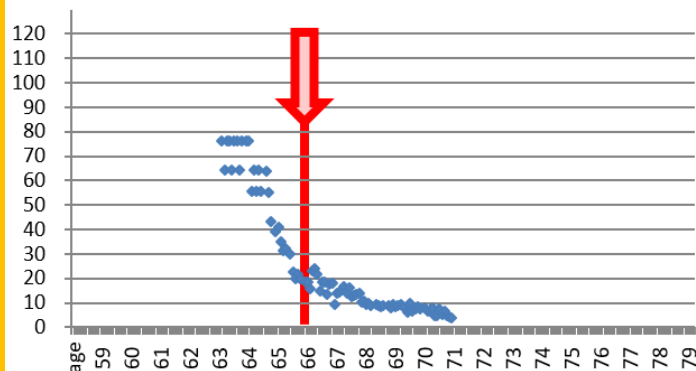


100%の症例で  
eGFR変動 > |ΔeGFR|

年間のeGFR低下よりもeGFR変動幅の方が大きい症例がほとんどで、1年間程度のeGFR推移の観察では腎機能の推移はわかりません

腎機能の悪化に気づき、適切な介入ができると腎予後を大きく改善できる可能性が出てきます

## 適切な介入で腎予後改善



ある介入で腎予後が改善したかについてもLong term eGFR plotでないと分かりません